

令和3年度第1回みきっ子未来応援協議会子育て環境部会 議事録

1 日時・場所 令和3年11月12日(金) 19:00～20:40  
三木市役所 大会議室

2 出席者

<委員 5名> 【部会長】 田中啓規  
※敬称略 【副部会長】 池田博文  
【委員】 北井保美、坂本幸枝、伊勢雅子、神吉知子  
<事務局 4名> 【健康福祉部】 井上典子(部長)  
【健康福祉部】 [子育て支援課] 中西 進(課長)  
近藤美紀(副課長)  
藤田恵子(係長)  
三木清香(主任)  
<意見聴取 6名> 子ども食堂代表者 3団体 各2名  
おおきなき(緑が丘地区)  
特定非営利活動法人びかびかクラブ(自由が丘地区)  
NPO みんなの城(三木地区)

3 開会

4 部長あいさつ 井上健康福祉部長

5 委員・事務局・子ども食堂代表者紹介

6 議事 子ども食堂について

(1) 子ども食堂代表者より(現状・ニーズ・継続するにあたり必要な支援)

【おおきなき(緑が丘地区)】

子ども食堂をやって6年ぐらいになります。放課後の子どもの居場所づくりの中の食育としていた活動が、子ども食堂をするきっかけです。コロナ前は、みんなでワイワイ地域のリビングみたいな感じにしていたのですが、集まることができなくなったことと、学校が閉鎖になったことで、お昼の配食に形を変え、緊急事態宣言解除後は、高齢の方の弁当も配食しています。今現在40食のうち10食前後がご高齢の方に配食して

います。団体のマンパワーは充実しています。

また、ひとり親の支援を前から考えており、現在は子ども食堂と併せてひとり親支援をしています。

継続をするにあたり必要と感じる支援は、金銭的支援です。寄付金を企業に募るなどの人的パワーもなく、子育て支援団体活動促進事業補助金も利用させていただきますが、補助金の目的がいろいろな活動に利用できるようになっており、今後、子ども食堂の枠組みの補助金を作るのであれば、活動回数に比例する補助金の形にしていきたい。

#### 【ぴかぴかクラブ（自由が丘地区）】

自由が丘中公園のバス待合所わくわくステーションをNPO法人が運営し、地域のために、2017年から、週1回、毎週木曜日4時半から6時半まで子ども食堂をしております。子ども食堂の補助金が最初でできた時から運営していますが、今は、子どもも高齢者も利用できる多世代交流の場として運営しています。子ども食堂とは別に、水曜日に子どもの遊び場を提供しています。

できるだけ地域の皆さんに利用していただくためPRに努めてはいますが、「かわいそうな子どもおいで」とは言えず今までなかなかPRができず、本当に困った子どもさんに情報が伝わっているかはわからないので、その情報を届けることで、市のご協力を仰ぎたいと思っています。

#### 【みんなの城（三木地区）】

中央公民館で毎週土曜日4時から8時まで4時間しています。まず先に宿題をする2時間を設け6時から食事をしています。きっかけは、貧困で学習環境を整えることができない子どもに学習支援をしたいという思いからです。三木高生が来てくれて宿題を教えてくれています。

課題として、よその地区に拡がらないと受け皿がパンクします。

また、子どもは宿題したら無料にしているので1度も参加費をいただいたことがなく、保護者から500円をいただいています。この活動を長く続けるため寄付を募るなどしています。

## 【質疑応答】

質問 たくさんのお子どもたちを支えてくださりありがとうございます。実際に来られているお子さんの、来られるきっかけを教えてくださいとありがたいです。

回答 おおきなき（緑が丘地区）

以前から遊び場に参加していた方が多いです。本当に困っている子が1人で来るのは難しいので、近所の方が誘うなどして自然な感じで利用できることが理想と感じますがなかなか難しいです。

回答 ぴかぴかクラブ（自由が丘地区）

保護者と子どもと一緒に来ます。不登校のお子さんが保護者と一緒に、何回か来たことがありますが、結局その他の子どもさんが来て、来なくなることもあり難しいです。子どもが1人で来ることはないです。

回答 みんなの城（三木地区）

4月から始め、最初は本当に誰も来られなくて、食事を作ったけれども帰ると帰るということが数か月ありました。中央公民館の館長に相談し小学校PTAの会合で説明する機会をいただき、会合に参加されていたお母さんが子どもたちを連れて来て頂いたのがきっかけです。子どもが一人で来るというのはまず無く、必ず保護者が送迎されています。

質問 利用方法を特に決めていない団体がありますが、予約なしで利用はできるのですか。

回答 おおきなき（緑が丘地区）

基本的には予約していただいています。時々、当日に利用したいという子どもがあり小学生は受け入れていますが、通常は予約していただいています。

質問 保護者と一緒に参加する子どもが多いようですが、子ども食堂を利用してほしいと考えるのは、貧困に関係なく、ご飯を作ってもらえないなどの虐待や育児放棄が考えられる子どもに利用してほしいと考えます。子ども食堂に来られない子どもたちに、どのような支援、周知をされていますか。

回答 みんなの城（三木地区）

チラシを近い小学校に配布しました。

質問 他の地区の子ども食堂も学校でチラシを配布しているのですか。

回答 ぴかぴかクラブ（自由が丘地区）

今後、学校の方にもお願いに行きたいと思っております。

貧困・虐待とかの区別はつかず市役所や民生委員も教えてくれません。だからたくさんきていただき、その中で1人でも食べれない子どもがいたら十分です。意見や質問することで来なくなる子どももいます。子ども食堂を貧困に特化してすることはできません。

回答 おおきなき（緑が丘地区）

以前は、緑が丘地区で全戸配布はしていましたが、学校では配布していません。子ども食堂については学校にも伝えていきます。貧困の方を対象として活動しているわけではなく、子ども食堂イコール貧困ではなく、地域食堂的なものが必要と感じています。長く続けていると必要な方が必然的に利用してくれていると感じています。

## （2）地域のニーズや求めることについて【グループワーク】

### 【グループワークで出た意見】

- ・ 何を目的にするのかというところで孤食と学びが大きなテーマで、それを実際に現場でされている方々にどういう風に情報を届けていくのか、市としてどのようにしたいか明確にする必要がある。
- ・ 孤食と学びを含めて、どう必要な方につなげていくのか、イメージを変えることが必要かもしれない。
- ・ 子ども食堂が行きにくい場ではなく、地域食堂などに少し名前を変えイメージを変える必要があるのでは。
- ・ 費用の面に関して、補助金の食材料費について、子ども食堂に対しては上限額を検討するのであれば、補助制度を確立し、子ども食堂についての説明会を開催するなどしてはどうか。
- ・ 各地区、情報を伝えたい人（本当に支援が必要な人）に対して、どう届けるのが問題と感じる。

（子ども食堂代表者より）

- ・ 民間施設で実施しているので場所代がかかるため補助金等の支援が必要。
- ・ 場所を借りて実施しているので、寄付をたくさんいただいた時の置き場所に困っている。
- ・ ボランティアの方に幾らかでも謝金を払いたいが資金面で難しい。

### (3) 三木市子育て支援団体活動促進事業補助金の活用について

説明

事務局（子育て支援課）

三木市子育て支援団体活動促進事業補助金について、今年度は、子ども食堂を運営されている団体もこの補助金をご利用されています。市民活動支援金経過措置が去年で終了し、市としてそれぞれ専門的に支援する方向になり、子育て支援活動については子育て支援課が担当ということで、昨年度の子育て環境部会で補助金の見直しを行いました。今までは在家庭児童に対しての支援に重きをおいていましたが、在家庭児童が減る中、児童とその保護者を対象とし、年間の実施回数を要件から削除しました。食材料費2万円の話がありましたが、食材料費の補助は昨年度までではなく、食材料費を対象にして欲しいという市民の方や委員からの意見をいただき、食材料費を要綱改正で加えた部分になります。

今日、いろいろな意見を聞く中でも子ども食堂にとっては食材料費2万円というのはやはり少ないということは十分わかりましたので、今後この補助金を子ども食堂にとって使いやすくなるか検討していきたいと思えます。

進行

司会（部会長）

それでは子育て支援団体活動促進事業補助金についてご意見を伺えればと思います。いかがでしょうか。

意見

（子ども食堂代表者）

概算払があるとよい。

回答

補助金の交付は、原則、活動終了後ですが概算払もできます。  
(補助金応募のしおりに掲載あり)

意見

（子ども食堂代表者）

週1回の活動を3月末までするため、事業終了後に補助金をいただくと、次の年度になってしまう。補助金が貴重な原資になるのでできれば年度内にいただきたいので概算払にしてほしい。

回答

概算払について子育て支援課へ、ご相談ください。

質問

（子ども食堂代表者）

満額、概算払できますか

回答

要綱上、概算払が可能ですので、希望があればご相談ください。

補足説明 概算払について、会計上も問題のない方法を、どのような方法がとれるかまたお知らせしたいと思います。(12月27日通知)

進行 ありがとうございます。概算払いについてはまた、検討いただくということで、他ご意見ありますでしょうか。特にないようなので、これを持ちまして本日の議事は終了いたします。

司会 事務局（子育て支援課）  
委員の皆様、子ども食堂の皆様、本日は大変ありがとうございました。  
貴重な意見をたくさんいただきまして今後の子ども食堂の促進に努めて参りたいと思います。

7 閉会のあいさつ 子育て支援課長

皆さん本日は遅くまでありがとうございました。まず、今日は子ども食堂を拡げたいということで、それをテーマに、お話をしていただいたのですが、なぜ拡げたいかという説明が抜けておりました。事務局として反省をしております。

市としましては、各ご家庭の経済の問題、養育の問題、そういった様々な問題の中で、ひとりで食事をしたり、十分に食事ができない子どもさんがいます。また、経済格差によって学習面での格差もあり食と学力の隠れた問題が市内各地にあり、それは、子どもたちにとって本当に不幸なことであり、やはり地域の子どもたちは地域で育てていく、子ども食堂を全市的に拡げたいという思いを元に、今日この会議を持たせていただきました。

今日は、様々なご意見をお聞かせいただく中で、来年度に向けて、貴重なご意見をいただけたと思います。補助金につきましては、来年度、子ども食堂は別出しでできるよう考えております。いろんなご意見の中で、本当に必要な子どもたちにどうやってつなげていくのか、そこが大事だというご意見もありました。今後、どんなペースで、子ども食堂の取り組みを知っていただき、拡げていくことができるかは未知数なところもありますが、皆様のご意見をお伺いしながら進めて参りたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

8 閉会